

各都道府県介護保険担当課（室）
各保険者介護保険担当課（室） 御 中
各 介 護 保 険 関 係 団 体

← 厚生労働省 老健局高齢者支援課

介 護 保 険 最 新 情 報

今回の内容

「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供事業所や
医療機関等との間におけるデータ連携のための標準
仕様について」等のホームページへの掲載について
計5枚（本紙を除く）

Vol.1095

令和4年8月30日

厚生労働省老健局高齢者支援課

【 貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよ
う、よろしくお願いいたします。 】

連絡先 TEL：03-5253-1111（内 線 3876）
FAX：03-3595-3670

事 務 連 絡
令和 4 年 8 月 30 日

都道府県
各 介護保険主管課（室） 御中
市区町村

厚生労働省老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室

「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供事業所や医療機関等との間における
データ連携のための標準仕様について」等のホームページへの掲載について

介護保険行政の円滑な実施につきましては、日頃から御尽力賜り厚く御礼申し上げます。

介護現場の負担軽減は喫緊の課題であり、介護分野における業務効率化を図るために、ICT
を活用した情報連携の取組を推進することが重要です。

先般、「「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供事業所や医療機関等との間におけるデ
ータ連携のための標準仕様について」（令和 4 年 8 月 12 日 老高発 0812 第 1 号 老認発 0812
第 1 号 老老発 0812 第 1 号）」において、データ連携に必要となる標準仕様について、お示
ししたところです。

今般、厚生労働省ホームページにおいても、上記の標準仕様等をそれぞれ掲載いたしました。

つきましては、管内関係団体、介護サービス事業所等に周知いただくとともに、貴自治体
による介護事業所支援にご活用ください。

掲載場所 <https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-ict.html>

【担当】

厚生労働省老健局高齢者支援課

介護業務効率化・生産性向上推進室 秋山、石内、小河

TEL：03-5253-1111(内線 3876)

調査研究の結果を踏まえ、以下のデータ連携のための標準仕様を作成

入院時・退院時情報

[illegible]

訪問看護計画書

利用者氏名		生年月日	年 月 日 ()歳					
要介護認定の状況	要介護(1 2) 要介護(1 2 3 4 5)							
住 所								
看護・リハビリテーションの目標								
年 月 日	問 題 点・ 解 決 策					評価		



項目	大分類	小分類	項目名	区分	説明	コード化	期間	コード値	備考
ヘンタリ項目	共通	1	データ伝送用IC	●	無線 (遠隔データ伝送を可能)		14		
		2	携帯制御	●	無線 (遠隔携帯制御を可能) 無線 (遠隔携帯制御を可能) 無線 (遠隔携帯制御を可能) 無線 (遠隔携帯制御を可能)		2		
		3	半導体装置 (小形)	●	半導体装置		10		
		4	半導体装置 (小形)	●	半導体装置		6		
		5	半導体装置 (小形)	●	半導体装置		10		
		6	データ転入 (入出力制御装置)	●	無線 (遠隔データ転入を可能)		8		
		7	転入 (遠隔データ転入装置)	●	無線 (遠隔データ転入を可能)		8		
		8	半導体装置	○	半導体装置		60		
		9	半導体装置	○	半導体装置		50		
		10	半導体装置	○	半導体装置		15		
		11	半導体装置	○	半導体装置		15		

[illegible]

項目 種別	分 類	項目 番号	項目 名	○：必須 □：任意	備考	コード化	桁数	コード値	注
共通 項目	共通 ヘッダ	1	ファイル名No.	○	連続 (英語アルファベットと数字)		14		
		2	種別識別	○			1		
		3	事業所番号	○	事業所番号		10		
		4	課番号	○	課番号		2		
		5	課内課番号	○	課内課番号		10		
		6	ファイル名	○	ファイル名		8		
		7	記入日	○	YYYYMMDD		8		
		8	事業所名	○	自由記述		60		
		9	課番号	○	自由記述		20		
		10	課内課番号	○	XXXX-XXXX-XXXX		18		
		11	FAX番号	○	XXXX-XXXX-XXXX		15		
		12	作成年度番号	○	自由記述		20		
		13	作成月番号	○	自由記述		20		
		14	利用番号(全)/区分	○	利用番号		60		
		15	利用年度	○	利用年度		20		
		16	利用月	○	自由記述		2		
		17	利用番号性別	○	男/女		1		1 男 2 女
		18	利用年度年月日	○	YYYYMMDD		8		
		19	利用番号前接番号	○	XXXX-XXXX		10		
		20	利用番号後接	○	自由記述(利用番号の20桁以内)		170		
		21	利用年度通番	○	XXXX-XXXX-XXXX		15		

25	総合的な援助の方針	フリーテキスト
26	生活援助中心型の算定理由	1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他
27	その他理由	フリーテキスト

その後の経過 介護保険申請 と関係する項目	S33	介護給付後の入院（2日目）	なし、あり	○	1	0	なし
					1	1	あり
	S34	保退り	できる、何かにのまればできる、できない	○	1	1	できる
					1	2	何かにのまればできる
	S35	移居	介助なし、一部介助、全介助	○	1	3	移居なし
					1	1	一部介助
					1	2	一部介助
	S36	口腔ケア	介助なし、介助あり	○	1	3	全介助
					1	2	介助なし
					1	2	介助あり
延滞理由	S37	食事摂取	介助なし、一部介助、全介助	○	1	2	一部介助
					1	2	全介助
	S38	お風呂の掃除	介助なし、一部介助、全介助	○	1	2	一部介助
					1	2	全介助
	S39	診療・療養上の指示が満足	はい、いいえ	○	1	2	はい
					1	2	いいえ
	S40	治療待ち	ない、ある	○	1	0	ない
					1	1	ある
費用負担に関する事項	S41	(訪問看護計画で把握した)計画的な外出費、車通費の返還	自由決定（訪問看護計画中で把握した訪問時の解決）	1000			
	S42	(訪問看護計画で把握した)計画的な自由乗降車の確保	自由決定（訪問看護計画中で把握した訪問時の解決）	1000			
	S43	(訪問看護計画で把握した)計画的な訪問料金の支払	自由決定（訪問看護計画中で把握した訪問時の解決）	1000			

1

ケアプラン標準仕様について

- 毎月、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所の間でやり取りされるケアプラン（予定・実績情報）について、異なるベンダーの介護ソフトであってもデータ連携を可能とするため、厚労省が示す様式をもとに、フォーマットやデータ形式等を規定した「標準仕様」を作成。
- 今後、「ケアプランデータ連携システム」等で活用

<イメージ図> (ケアプラン)

フォーマットの統一

No.	日本語名称	書式、選択肢など
1	保険者番号	要介護者が属する自治体のコード
2	被保険者番号	被保険者番号
3	居宅サービス計画作成年月日	YYYYMMDD
4	利用者氏名	フリーテキスト
5	利用者生年月日	YYYYMMDD
6	利用者郵便番号	XXX-XXXX
7	利用者住所1	フリーテキスト
8	利用者住所2	フリーテキスト
9	居宅サービス計画作成者氏名	フリーテキスト
25	総合的な援助の方針	フリーテキスト
26	生活援助中心型の算定理由	1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他
27	その他理由	フリーテキスト

共通化

ソフトごとにデータのフォーマットが異なり円滑な情報連携が行えないという課題

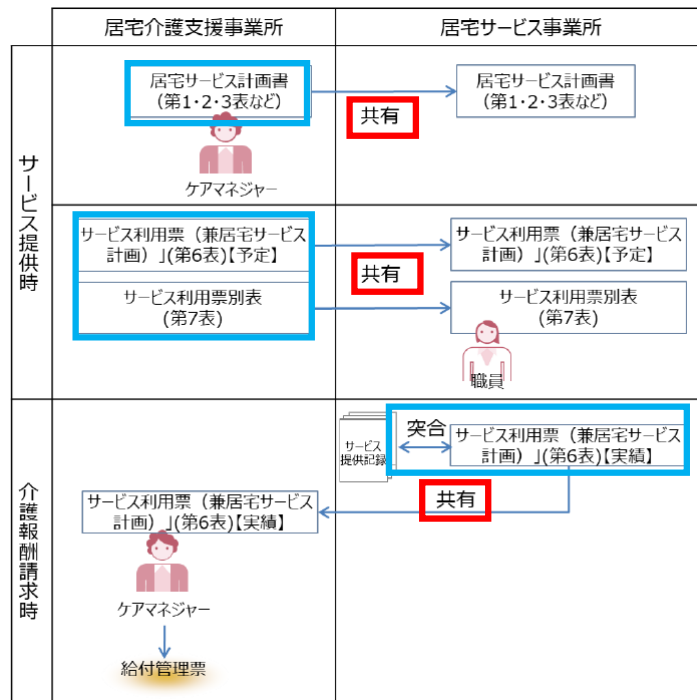
【期待できる効果】

- 書類の記入や転記誤りなど業務負担の削減
- 人件費、印刷費、通信費、交通費などの削減

【連携されるデータ】

- 利用者基本情報
- 居宅サービス計画（予定）・・・長期目標、短期目標、サービス事業所名、頻度、実施機関等
- サービス利用表（実績）・・・単位数、サービス利用日等

ケアプラン標準仕様の活用例



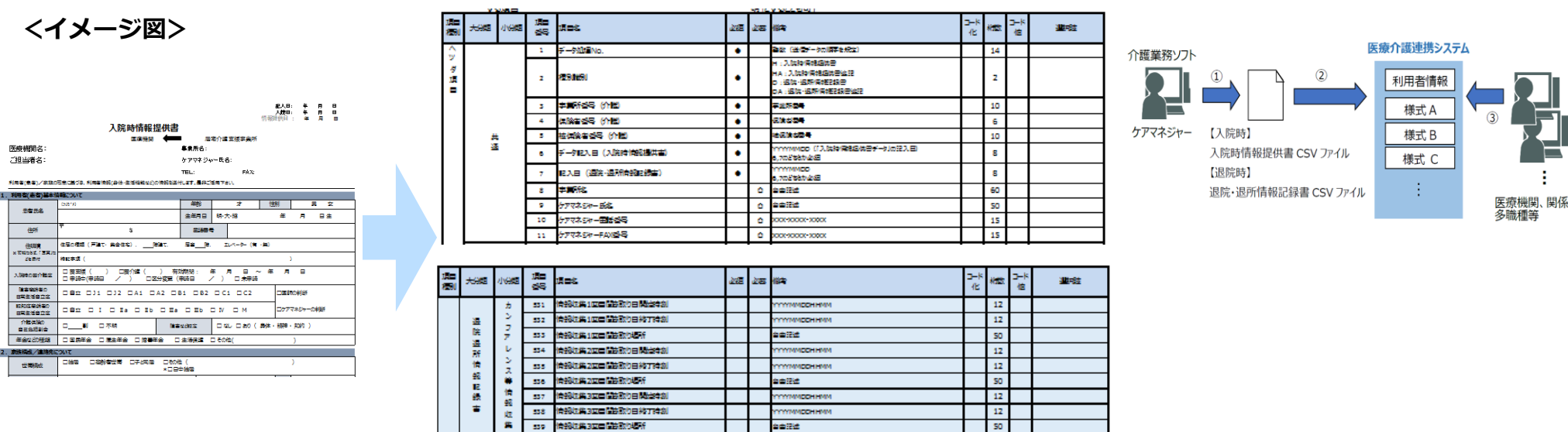
標準仕様の活用によりデータでやり取り

介護ソフトより、標準仕様に準じた形式で出力

入退院時情報連携標準仕様について

- 入院時・退院時にケアマネジャーと医療機関が連携することが求められており、介護報酬において入院時情報連携加算、退院・退所加算として設定され、厚生労働省が様式例を示している。
- 入院時情報提供書、退院・退所情報記録書による居宅介護支援事業所と医療機関等の情報連携について、電子的に行うことができる標準的なファイル形式の詳細について記載

<イメージ図>



今後、多職種が情報共有する医療介護連携システムでの活用を期待

【連携されるデータ】

- 基本情報・・・保険者番号、利用者被保険者番号等
- 入院時情報提供書・・・入院日、要介護度、世帯情報、本人・家族の意向、入院時の介護、身体・生活機能、療養上の課題、服薬等
- 退院時情報提供書・・・退院時の要介護度、退院日、入院概要、入院中の状況、本人家族の意向、退院後に必要な事項等

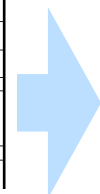
訪問看護計画等標準仕様について

- 訪問看護計画等について、日々のサービス提供内容について厚生労働省が様式例を示している。
- これらの様式による訪問看護ステーション、かかりつけ医、ケアマネジャーの情報連携について、電子的に行うことができる標準的なデータ項目の詳細について記載

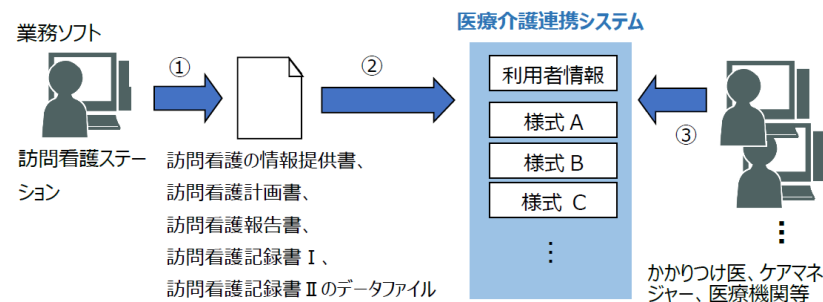
<イメージ図>

別添様式1 訪問看護計画書

利用者の氏名	生年月日	年	月	日	()歳
要介護認定の状況	要介護(1 2)	要介護(1 2 3 4 5)			
住 所					
看護・リハビリテーションの目標					
年 月 日	問 題 点・ 解 決 策				評価



項目 種類	分類	項目 番号	項目 名称	○：必須 □：任意	備考	コード化	桁数	コード値	説明
基本 項目	共通 ヘッダ	1	氏名(姓・名)	○	姓(姓漢字・フリガナ漢字)		14		
		2	生年月日	○	生年月日(西暦)		10		
		3	性別	○	性別(漢字)		1		
		4	要介護認定	○	要介護認定(漢字)		5		
		5	住所(市区町村)	○	住所(市区町村)		10		
		6	住所(〒)	○	住所(〒)		10		
		7	住所(市町村)	○	住所(市町村)		10		
		8	住所(区)	○	住所(区)		10		
		9	住所(町)	○	住所(町)		10		
		10	住所(丁目)	○	住所(丁目)		10		
		11	住所(番地)	○	住所(番地)		15		
		12	住所(部屋)	○	住所(部屋)		10		
		13	住所(建物)	○	住所(建物)		10		
		14	住所(建物)	○	住所(建物)		10		
		15	住所(建物)	○	住所(建物)		10		
		16	住所(建物)	○	住所(建物)		10		
		17	利用形態	○	利用形態(漢字)		1		
		18	利用形態	○	利用形態(漢字)		1		
		19	利用形態	○	利用形態(漢字)		1		
		20	利用形態	○	利用形態(漢字)		1		
その他 項目	拡張 ヘッダ	533	訪問看護計画の作成(2日単位)	○	訪問看護計画の作成(2日単位)		1		
		534	看護の目標	○	看護の目標(漢字)		1		
		535	看護の目標	○	看護の目標(漢字)		1		
		536	看護の目標	○	看護の目標(漢字)		1		
		537	看護の目標	○	看護の目標(漢字)		1		
		538	看護の目標	○	看護の目標(漢字)		1		
		539	看護の目標	○	看護の目標(漢字)		1		
		540	看護の目標	○	看護の目標(漢字)		1		
		541	看護の目標	○	看護の目標(漢字)		1		
		542	看護の目標	○	看護の目標(漢字)		1		



今後、多職種が情報共有する医療介護連携システムでの活用を期待

【連携されるデータ】

- 基本情報・・・保険者番号、利用者被保険者番号、要介護度等
- 訪問看護計画書・・・看護の目標、解決策、評価等
- 訪問看護報告書・・・保険種類、職種、訪問看護指示書、訪問日等
- 訪問看護記録書Ⅰ・・・看護師氏名、訪問職種、訪問年月日、開始時間、終了時間、傷病名、現病歴、既往歴、生活歴、ADL等
- 訪問看護記録書Ⅱ・・・看護師氏名、訪問職種、訪問年月日、開始時間、終了時間、心身機能、実施した看護等
- 訪問看護の情報提供書・・・主治医氏名、医療機関名、ADL、看護の内容、看護上の問題点等